

令和3年2月12日発行

# 1月の芦国

## ブレ大学入試共通テスト【6年】

1/4(月)  
~5(火)

年明け早々の1月4日と5日に、試験の時間から休憩時間まで本番どおりの時間設定で、ブレ大学入試共通テストを実施しました。空き時間も含めてかなりの長丁場でしたが、参加した生徒たちは真剣にテストに取り組んでいました。このあと、15日の直前集会、16・17日の本番、18日の自己採点と進んでいきます。今まで自分がしてきたことを支えに、健闘を祈ります。



## トライやる・ウィーク【2年】

1/25(月)  
~29(金)

今年度のトライやる・ウィークは、コロナ禍の影響で、事業所に出かけて行う活動ができませんでした。そうした中でもできる活動をと、今までトライやるの受入に手を上げてくださったにもかかわらず、生徒が行くことができていなかった事業所様10箇所への電話インタビューを行いました。生徒たちが緊張しながら電話をする様子や、一生懸命に記録する様子や、インタビューが終わったあと「ありがとう」「お疲れさま」と言い合っている姿を、トライやるウィーク推進委員のみなさんや、PTAの役員の方々にも見ていただきました。生徒たちの感想を紹介します。



〇前は練習だったのでしっかり進めることができたけれど、実際にかけてみると練習と違うようなハプニングが起きたり、うまく話せなかったりするんだと感じました。電話は相手の顔が見えないので、その分言い方によっては態度が悪く思われたり、逆に礼儀正しく思われたりするのでは難しいと思いました。大人になれば、もっと大事な場面で電話する機会が多くなると思うので、よい経験をする事ができたと思います。

〇私は電話をする人ではなかったのですが、あまり緊張はしませんでした。電話をしてくれた人たちの緊張が伝わってきました。また、相手の方が不在で少し戸惑いましたが、うまくインタビューができて本当に良かったです。今まであまり尋ねることがなかった質問をして、新しく知ったこと、すごく納得したことなどがあって、自分の将来への視野が少し広がった気がします。班のメンバーで準備したことが成功して嬉しいです。自分が電話するときも、今回の経験を活かしていきたいです。

〇電話を担当しませんが、とてもとても緊張しました。今コロナウイルスが流行している中、ティサービスの方たちは、たくさんの工夫をされているということがよく分かりました。トライやる・ウィークをすることはできなかったけれど、ティサービスの人たちがどんなお仕事をされているのか、どんな人が向いているのか、仕事をする楽しみややりがいなども知ることができ、本当によい経験ができたなと思いました。

## 始業式・避難訓練・課題考査 1/8(金)



3学期の始業式は放送で行いました。校長先生のお話のあと、表彰伝達、生活支援部長からのお話がありました。避難訓練は津波を想定したもので、黙祷を捧げたあと、シェイクアウト訓練を行い、1・2階で授業をしていた生徒たちは階段を3階まで駆け上がりました。真剣そのものの訓練でした。その後、冬休みの学習成果を確かめる課題考査を行いました。

## 入学願書受付はじまる 1/12(火)~15(金)

1/12(火)  
~15(金)

令和3年度入学者選考の願書の受付が始まりました。雪が舞い散る極寒の中、早朝から列ができ、たくさんの方の出願がありました。今年は、室内の換気やパーティションの設置など、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら行い、初日で180名分ほどの願書を受け付けました。15日(金)の正午まで受け付けます。2月6日の選考に向けて、万全の準備を行っていきます。



## ストレスマネジメント講座【1年】 1/13(水)



1年生が、本校スクールカウンセラーの岩井先生から、ストレスマネジメント講座を受けました。ストレスとは何かという基本的な話や、「こころの体温計」というワークシートを使いながら、今の自分の心の状況を客観的に把握したりしました。ストレスの発散方法も分かち合いながら、上手にストレスと付き合う方法について教えていただきました。

## 登校指導スタート 1/20(水)~26(火)

1/20(水)  
~26(火)

登校指導が始まりました。指導に出ている職員からは「生徒たちから先に挨拶してくれた。爽やかさを感じた。」と報告がありました。コロナ禍ということもあり、ソーシャルディスタンスをとり、大きな声も出せない状況ですが、通学路全体の中で、自分の歩いている位置をよく把握し、これからも安全に登校してくれることを望みます。



## わくわくオーケストラ教室【1年】 1/21(木)



コロナ禍の中、様々な活動が中止される中、1年生が「わくわくオーケストラ教室」に参加しました。西宮にある県立芸術文化センターで鑑賞しました。ピゼーの歌劇「カルメン」で始まり、ヴィヴァルディの「春」、楽器の紹介、ワーグナーの楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」、ストラヴィンスキーの組曲「火の鳥」、最後にアンコールで「ラデッキー行進曲」を会場みんなの拍手で共演しました。生の演奏をうっとりとし、時には楽しそうに聞いている1年生の表情がとても印象的でした。本物に触れる大切さを感じる機会となりました。「オーケストラの生の音って、どんな感じがしましたか?」という質問に、1年生が答えてくれました。〇電子音より響いてきれいだった。〇いつもイヤホンとかで聞いている音よりも立体感があってすごかった。〇音の振動が体に直接伝わってきて興奮した。〇耳だけでなく、お腹からも音が入ってくる感じ。〇休全体に音が作った振動が伝わり、全細胞が起きる感じ。〇画面越しで見るともすごく迫力があって、いろいろな楽器で作る1つの「音」が予想以上に美しく感じた。



## 新型コロナウイルス感染予防ポスター



生徒会保健委員が作成しました。その他も校内に掲示しています。

発行 兵庫県立芦屋国際中等教育学校  
校長 樋口 一哉  
〒659-0031 芦屋市新浜町1-2  
TEL: 0797-38-2293 / FAX: 0797-38-2295  
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~ashiyaai-ss/index-j.htm>

